



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アドバンスト・メディア

コード番号 3773 URL <http://www.advanced-media.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 鈴木 清幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理部長 (氏名) 立松 克己

TEL 03-5958-1031

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	557	0.4	△207	—	△150	—	△136	—
25年3月期第2四半期	555	△4.9	△154	—	△254	—	369	△79.7

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △113百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 117百万円 (△93.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△8.91	—
25年3月期第2四半期	24.22	—

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	6,385	4,596	71.3	297.98
25年3月期	4,987	4,647	93.1	304.39

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 4,553百万円 25年3月期 4,645百万円

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,600	1.7	△345	—	△350	—	△365	—	△23.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり当期純利益金額については当該株式分割の影響を考慮して算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
特定子会社の異動には該当していませんが、株式会社グラモを連結子会社として連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	15,282,200 株	25年3月期	15,260,200 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	— 株	25年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	15,275,058 株	25年3月期2Q	15,260,200 株

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、人が機械に自然に意思を伝えられる「ソフトコミュニケーションの時代」を拓くべく第2次中期経営計画を推進しております。当連結会計年度は、スマートデバイスの普及に対応した製品・サービスを強化することで、従来の売り切りビジネスから月額課金モデルに転換を図り、売上と収益の安定的な成長を目指してまいります。

そのような中で、売上高に関しましては、CTI事業部において既存製品が新たな金融機関へ導入されるとともに、医療事業部においても主力製品である放射線科向け製品の販売が堅調に推移いたしました。

損益に関しましては、営業利益については当初計画よりも売上高が伸長したこと、およびそれにともない開発人員の案件稼働比率が高まったため、計画していた研究開発が一部下期へずれ込んだことなどにより、当初計画を上回りました。経常利益については、円安の影響による為替差益が想定以上に発生し、当初計画を上回りました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は557百万円（前年同四半期は売上高555百万円）、営業損失は207百万円（前年同四半期は営業損失154百万円）、経常損失は150百万円（前年同四半期は経常損失254百万円）、四半期純損失は136百万円（前年同四半期は四半期純利益369百万円）となりました。

また、当社が第2次中期経営計画で掲げた新機軸サービス事業「声が価値を生み出すサービス事業（VAS）」を実現する一環として、株式会社グラモの株式の取得を実施し同社を連結子会社といたしました。株式会社グラモは、エネルギー制御の家庭特化システムHEMS(Home Energy Management System)と連携可能な通信制御機能付き赤外線リモコン「iRemocon」を開発・販売およびサービス提供をしており、「iRemocon」は、外出先または室内のスマートフォン（タブレット）から住宅内の家電製品（照明器具、エアコン、テレビ等）を1台でコントロールすることができます。この「iRemocon」に音声認識技術を付加することで、音声によって住宅内の家電製品を簡単に便利にコントロールすることが可能となり、新機軸サービス事業の展開を加速させることができます。

音声事業のうち各分野別の状況は、以下のとおりであります。

① CTI事業部

既存製品の拡販を行い新たな金融機関への導入がされ、売上が堅調に推移いたしました。

② クラウド事業部

声だけで音声認識機能を起動させる「ハンズフリーコントロール機能」の提供開始や、スマートテレビ用言語モデルを開発するなど、スマートフォンを中心に、カーナビ、スマートテレビ等への展開を見越した開発を強化いたしました。

③ 医療事業部

主力製品である放射線科向け製品AmiVoice[®] Ex7 Radおよび電子カルテ向け製品AmiVoice[®] Ex7 Clinicの販売が堅調に推移いたしました。

④ 議事録事業部

新たに、鳥栖市、新宮町、福津市、網走市の地方自治体4件に導入をいたしました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は4,622百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,450百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1,659百万円増加したことによるものであります。固定資産は1,763百万円となり、前連結会計年度末に比べ51百万円減少いたしました。この結果、総資産は、6,385百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,398百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は221百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円減少いたしました。固定負債は1,567百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,502百万円増加いたしました。これは社債が1,505百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,789百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,449百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は4,596百万円となり、前連結会計年度末に比べ50百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失136百万円の計上と新株予約権の行使による資本金等の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は71.3%（前連結会計年度末は93.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年10月28日付で公表した連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第2四半期連結会計期間において、株式会社グラモの株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,267,953	3,927,175
受取手形及び売掛金	569,185	222,540
有価証券	85,611	88,469
商品及び製品	4,712	14,153
仕掛品	5,669	31,541
原材料及び貯蔵品	13,081	17,779
未収入金	129,267	215,243
その他	99,530	107,059
貸倒引当金	△3,110	△1,929
流動資産合計	3,171,900	4,622,032
固定資産		
有形固定資産		
建物	67,979	67,979
減価償却累計額	△35,171	△35,171
減損損失累計額	△32,807	△32,807
建物（純額）	—	—
その他	98,280	105,812
減価償却累計額	△82,290	△79,795
減損損失累計額	△15,290	△15,230
その他（純額）	699	10,786
有形固定資産合計	699	10,786
無形固定資産		
のれん	—	126,139
ソフトウェア	7,838	40,394
ソフトウェア仮勘定	590	2,736
無形固定資産合計	8,428	169,269
投資その他の資産		
投資有価証券	1,030,603	1,052,214
敷金及び保証金	74,174	74,066
長期前払費用	495,371	457,265
長期未収入金	206,820	—
その他	155	172
貸倒引当金	△959	—
投資その他の資産合計	1,806,164	1,583,718
固定資産合計	1,815,292	1,763,774
資産合計	4,987,192	6,385,807

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	70,108	48,826
未払金	17,737	40,399
リース債務	305	202
未払法人税等	66,338	11,640
前受金	65,858	92,698
繰延税金負債	5,685	6,858
その他	48,821	20,992
流動負債合計	274,854	221,618
固定負債		
社債	—	1,505,000
リース債務	71	—
資産除去債務	7,022	7,086
繰延税金負債	58,118	55,458
固定負債合計	65,211	1,567,544
負債合計	340,066	1,789,162
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,585,097	4,596,097
資本剰余金	3,577,231	3,588,231
利益剰余金	△3,607,655	△3,743,791
株主資本合計	4,554,673	4,440,537
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89,089	112,533
為替換算調整勘定	1,312	734
その他の包括利益累計額合計	90,402	113,267
新株予約権	2,050	42,840
純資産合計	4,647,126	4,596,644
負債純資産合計	4,987,192	6,385,807

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	555,249	557,743
売上原価	183,898	199,179
売上総利益	371,350	358,563
販売費及び一般管理費	525,681	565,653
営業損失(△)	△154,330	△207,090
営業外収益		
受取利息	1,449	3,515
有価証券利息	9,388	5,451
為替差益	—	64,287
関係会社株式売却に伴う精算分配金	54,171	—
雑収入	16	464
営業外収益合計	65,025	73,718
営業外費用		
支払利息	43	12
持分法による投資損失	97,368	—
投資事業組合運用損	—	3,976
為替差損	69,857	—
社債発行費	—	11,413
支払手数料	—	2,530
雑損失	—	12
貸倒引当金繰入額	△1,857	△561
営業外費用合計	165,411	17,383
経常損失(△)	△254,716	△150,755
特別利益		
投資有価証券売却益	663,630	—
新株予約権戻入益	—	2,050
特別利益合計	663,630	2,050
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	408,913	△148,705
法人税、住民税及び事業税	38,537	1,900
法人税等調整額	769	△14,469
法人税等合計	39,307	△12,569
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	369,606	△136,136
四半期純利益又は四半期純損失(△)	369,606	△136,136

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	369,606	△136,136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△251,205	23,443
為替換算調整勘定	△737	△578
その他の包括利益合計	△251,942	22,864
四半期包括利益	117,664	△113,271
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	117,664	△113,271
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	408,913	△148,705
減価償却費	9,212	4,882
投資有価証券売却損益(△は益)	△663,630	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,268	△2,158
受取利息及び受取配当金	△10,837	△8,966
支払利息	43	12
持分法による投資損益(△は益)	97,368	—
新株予約権戻入益	—	△2,050
投資事業組合運用損益(△は益)	—	3,976
関係会社株式売却に伴う精算分配金	△54,171	—
為替差損益(△は益)	69,929	△63,105
売上債権の増減額(△は増加)	85,446	348,846
たな卸資産の増減額(△は増加)	△44,472	△30,551
前払費用の増減額(△は増加)	△1,543	34,128
長期前払費用の増減額(△は増加)	14,775	—
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,931	△27,788
未払金の増減額(△は減少)	64,703	22,860
未払費用の増減額(△は減少)	2,783	△5,003
その他	13,017	△843
小計	△23,661	125,535
利息及び配当金の受取額	14,167	16,323
利息の支払額	△81	△12
法人税等の支払額	△4,267	△60,388
法人税等の還付額	2,612	—
その他	54,171	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	42,941	81,458
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△863,940
定期預金の払戻による収入	—	1,163,940
関係会社株式の売却による収入	370,837	134,287
有形固定資産の取得による支出	△800	△9,873
無形固定資産の取得による支出	—	△37,351
投資有価証券の取得による支出	△74,878	—
投資有価証券の売却による収入	1,324,460	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△128,693
貸付金の回収による収入	600	343
敷金及び保証金の差入による支出	△1	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	171
その他	△16	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,620,200	258,866

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	—	1,505,000
株式の発行による収入	—	22,000
新株予約権の発行による収入	—	42,840
リース債務の返済による支出	△1,098	△162
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,098	1,569,677
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27,574	11,619
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,634,469	1,921,622
現金及び現金同等物の期首残高	426,076	728,053
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,060,545	2,649,675

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(株式の分割、単元株制度の採用及び定款の一部変更)

平成25年9月6日開催の取締役会において、株式分割、単元株制度の採用及び定款の一部変更について決議し、平成25年10月1付で実施しております。

(1) 株式の分割の目的

平成19年11月27日に、全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨に踏まえ、当社株式の売買単위를100株とするために、当社普通株式1株を100株に分割するとともに、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用いたしました。なお、本株式の分割および単元株制度の採用に伴う投資単位の実質的な変更はありません。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数 : 152,822株
株式分割により増加する株式数 : 15,129,378株
株式分割後の発行済株式総数 : 15,282,200株
株式分割後の発行可能株式総数 : 35,800,000株

(3) 分割の日程

基準日設定公告日 平成25年9月13日
基準日 平成25年9月30日
効力発生日 平成25年10月1日

(4) 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下の通りとなります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額(△)	24円22銭	△8円91銭